

Blood Information

ブラッド・インフォメーション

献血月刊情報 2020年4月号

〔発行元〕岩手県赤十字血液センター献血推進課
〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳6-1-6
TEL: 019-637-7201



新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、岩手県赤十字血液センターでは、献血バスなどにビニールシートの仕切りを設置しました。他にも会場内の消毒、来場者へのマスク着用・手指消毒のお願い、体温測定など、安全安心な献血会場の運営に取り組んでいます。

- ・令和元年度の献血状況について
- ・健康ミニ知識 vol.42

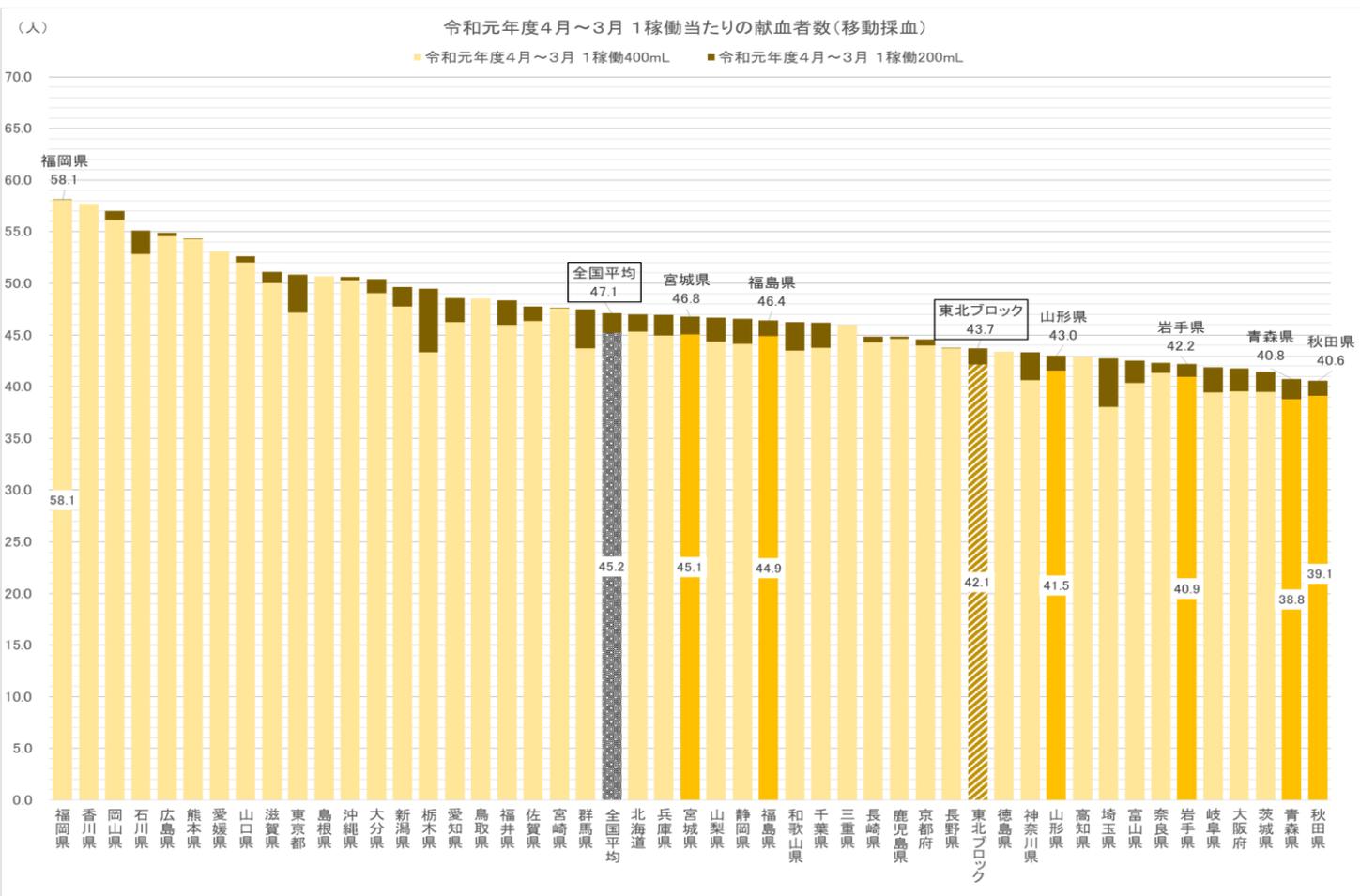
CONTENTS

TOPICS

令和元年度の献血状況について

令和元年度の岩手県内における献血者数は延べ43,396人。全血献血は31,639人、成分献血は11,757人の方にご協力いただきました。平成30年度に比べ、全血献血者は1%増加、成分献血者は5%増加しました。

皆さまのご協力により、昨年度も県内で必要とする血液は不足なくお届けすることができました。令和2年度も献血へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



健康三二知識 vol.42 外出自粛要請による運動不足の解消について

令和2年4月7日に発令された「緊急事態宣言」により、当面の間、不要不急の外出を控えることとされています。外出自粛により歩く機会が減ると、運動不足になりがちです。また、ずっと家にいると、これまでは簡単に済ませていた食事をしっかり摂ったり、ついにお菓子を食べてしまったり、食べ物に手がでやすくなってしまいうこともありません。こうした運動不足や食べ過ぎ、ずっと家にいることによる気分の落ち込みを防ぐために次のようなことを心がけましょう。

- ・人混みを避けて、一人や限られた人数で散歩する。
- ・家の中や庭などでできる運動（ラジオ体操、自治体のオリジナル体操、スクワットなど）を行う。
- ・家事（庭いじりや片付け、立位を保持した調理など）や農作業などで身体を動かす。
- ・座っている時間を減らし、足踏みをするなど身体を動かす。

厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/yobou/index_00013.html より引用



※このような非常事態においても、他に代わるもののない輸血用血液を日々安定的に患者さんへお届けする必要がありますことから、**献血へのご協力は不要不急の外出にはあたりません。**

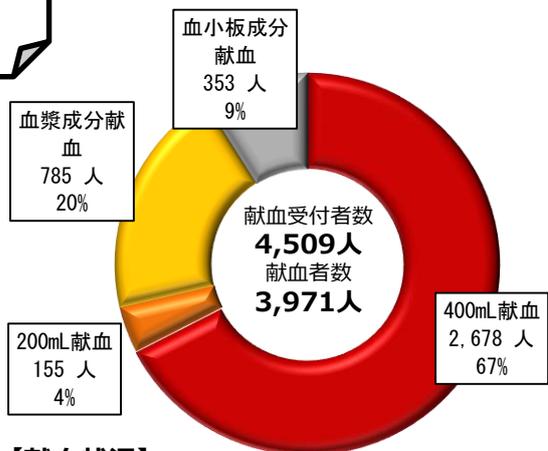
むしろ、現代の医療が成り立たないことのないよう、そして、有効期間の短い輸血用血液を必要としている患者さんの命を守るために、輸血用血液の在庫量を適切な水準で維持していくことが極めて重要です。

こうしている間にも、全国では毎日約3,000人あまりの患者さんが輸血用血液を必要としています。有効期間のある輸血用血液を必要量に応じて確保していくために、献血への協力をお願いいたします。

Data

岩手県の献血・供給状況（3月）

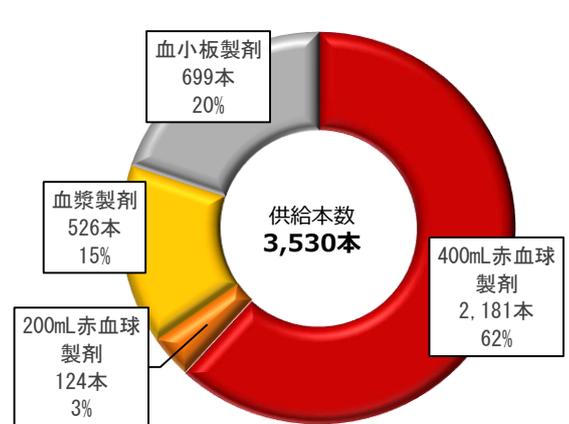
岩手県の献血状況



【献血状況】

全血献血は200mL換算で**5,511本**、400mL献血率（400mL献血者数/全血献血者数）は**94.5%**でした。

岩手県の供給状況



【供給状況】

血漿製剤は血漿成分献血からだけでなく、200mL献血や400mL献血からも作られています。

ホームページでも閲覧できます。H30年4月1日からアドレスが変更になりました。
岩手県赤十字血液センターホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/th/iwate/>

Blood Information
ブラッド・インフォメーション
献血月刊情報